

# 校長通信「学ばん共に」



その9 「行動が人を変える」(2学期終業式 校長式辞)



12月22日 終業式 振り返りスピーチの学年代表

▶学年代表の話を聴きながら、いくつかの場面を思い出しました。**ひまわり学級**…今年も「ひまわりショップ」とても繁盛しました。大きくて美味しいダイコンや丹精込めてつくった革細工・ポチ袋など、どれもお客さんを笑顔にする素晴らしい出来でした。**1年生**…職場体験で一生懸命働いた1年生…事業所やお店の方から「可美中の生徒さん、素晴らしいね。是非来年も引き受けさせてください」…そんな言葉をたくさんいただきました。可美中の名を揚げました。**2年生**…今年新しく始めた探究活動「エンジン」、企業の方へのプレゼン…素晴らしい発表ばかりでした。新しい取組を成功させたパワーとセンス…これからも期待しています。また、本校の用務員さんの1人が「2年生のある女子生徒さんがいつも私にあいさつしてくれてとても嬉しいです。」と私に話してくれました。そういう温かさもいいですね。そして、**3年生**…学校行事の主役として下級生をリードし、可美の学舎を大いに盛り上げました。体育館で私1人のために歌ってくれた合唱…涙が出ました。一生忘れません。また、進路実現に向けて日々の授業に集中する姿も学舎を背負うのにふさわしい学年だと思います。流石です。この冬が勝負ですね。応援しています。…全体を通して「ああ充実した2学期だった」「授業に真剣に取り組み、行事に熱中する可美中らしい2学期だった」そう思います。また、先生方といっしょに作成している**夢力一ド**…これまでに、**2511**枚発行しました。これもみなさんの努力の証です。とても嬉しいことです。

▶さて、冬休みを前に私から皆さんに伝えたい言葉は、今年もこれです…「**耐えて鍛える冬**」。

日本には春夏秋冬…四季があります。特に浜松の冬は「遠州のからっ風」が吹きます。しかし、この厳しい寒さがあるからこそ、天竜の木は、しなやかで強い幹に成長します。人もこの寒さの中で「耐える力」「じっくり考える力」「粘り強く取り組む力」を養える、と私は思います。

▶今年の冬休みは18日間…例年よりも長めです。だからこそ、自分磨きの冬休み、エネルギー充電の冬休みにしてください。もちろん、何もしないのんびりした時間も大事です。その両方を自分で決めて計画してみましょう。ちょっと長めの冬休みにこそ今までできなかったことに挑戦する時間があります。チャレンジするには忍耐力が必要です。そこで得た粘り強さが、やがて、自分を大きく成長させる一歩になると私は信じます。1人でじっくり取り組む時間が大切です。

▶きっかけがあつたらきっと自分も変わる…よく聞く言葉です。でもあえて今年も言います。「**きっかけはいらない**」「**行動が人を変える**」…「何かいいことがおきないかな」「誰かが自分を助けてくれないかな」…誰もが皆、そういう気持ちを持ちます。私もその1人です。しかし、結局のところだれも助けはくれません。行動することで人は初めて自信を持てたり、自分なりのやり方を見つけたりできます。これは失敗を通して私が学んだことです。もう一度言います。「きっかけはいらない」「行動が人を変える」…そうです。自分で決めて、自分でやり抜くことです。できるまで、繰り返すことです。この冬だからこそ、是非チャレンジしてみてください。

▶最後に…今年も皆さんといろいろな体験ができたこと、多くの感動をもらったことを、とてもうれしく幸せに思います。ありがとうございます。そして、1月9日この可美の学舎に笑顔で集まりましょう。今日と同じようにこの体育館で会いましょう。「チャレンジできた」…という顔で学舎に集う可美中生380名に期待しています。「耐えて鍛える冬」皆さんにとってこの冬が2024年の素晴らしいスタートになることを心から願っています。私の話は以上です。ありがとうございます。

(北村健治)